

判例から読み解く よくわかる相続税法

三木義一 監修，鹿田良美 著

担当編集から

人であれば、必ずおとずれる「死」。そのときに発生する相続問題。そして、相続税。相続関係の理解でもややこしいのに、さらに相続税となると、非常に難解です。

相続税法は相続法と税法が正面からぶつかり合い、しかも利害関係が多種多様で複雑で非常に分かりづらい分野です。民法と税法、両方の知識が必要となりますが、なかなかそれぞれの教科書を読み比べることは難しいと思います。

しかし、この本はその課題をクリアしました！

本書は、最高裁判例など、具体的事案の解説を通じて、相続税法の基本的仕組みを分かりやすく解説します。民法の内容も必要に応じて取り扱っています。最終的には相続税の全体像を理解することを目的としています。

そのため、相続税法を扱う実務家にとって、必携の一冊です。また、もともと、この本は著者が大学院の講義で使っていたレジュメや資料がベースになっているので、大学や大学院のゼミ教材としても非常に有益です。文章は、相続税法に関心のある学部生・院生であれば、だれでも読める平易な文体になっています。(1)

Index

どの講も時系列や人物関係図を示したり、本文でも図表を駆使して分かりやすく説明しています。

ガイダンス 相続税の全体構造と講座の進め方

- 第1講 (相続人)養子縁組の前に出生した養子の子は相続人となるか?
- 第2講 (相続人)専ら節税を目的とする養子縁組は有効か?
- 第3講 (相続財産)取消訴訟係属中の訴訟上の権利は相続財産か?
- 第4講 (相続財産)農地の売買契約途中で売主が死亡した場合の相続財産は何か?
- 第4講補講 (相続財産)農地の売買契約途中で買主が死亡した場合の相続財産は何か?
- 第5講 (相続財産)相続財産である年金受給権及び毎年支給される年金についての課税関係
- 第6講 (非課税財産)相続税の非課税財産とされる「庭内申し」
- 第7講 (債務)連帯保証債務は「確実な債務」に当たらない?
- 第8講 (相続の選択と相続税)限定承認に係る相続における所法59条の適用
- 第8講補講 (相続の選択と相続税)限定承認に係る相続における法定納期限
- 第9講 (遺産分割)預貯金債権は遺産分割の対象となる!
- 第10講 (遺産分割)民法における遺産分割協議と合意解除及び再分割協議の可否
- 第11講 (遺産分割)相続税法における遺産分割協議と合意解除及び再分割協議の可否
- 第11講補講 (遺産分割)錯誤による遺産の

- 再分割に基づく更正の請求期間内における更正の請求の可否
- 第12講 (特別受益)死亡保険金請求権と民903条
- 第13講 (特別受益)共同相続人間でされた無償による相続分譲渡は「贈与」
- 第13講補講1 (特別受益)具体的相続分の算定と遺留分の算定
- 第13講補講2 (特別受益)共同相続人間でされた無償による相続分譲渡は「贈与」
- 第14講 (遺言)自筆証書遺言に書かれた花押は「印鑑」か?
- 第15講 (遺言)「相続させる」旨の遺言により遺産を相続させるものとされた推定相続人が遺言者の死亡以前に死亡した場合における当該遺言の効力
- 第16講 (遺留分減殺請求)法人への遺贈に対する遺留分減殺請求について価額弁償した場合の課税関係について
- 第16講補講1 (遺留分減殺請求)遺留分減殺請求から遺留分侵害額の請求へ
- 第16講補講2 (遺留分減殺請求)第16講事件に係る最高裁判決における反対意見と補足意見
- 第17講 (遺留分減殺請求)遺留分減殺請求に係る価額弁償金が相続税の課税価格となる場合の計算について
- 第18講 (相続税額の是正)相続人間の別件訴訟の和解を前提とする相続税の更正の請求の可否

判例から読み解く

よくわかる 相続税法

有斐閣選書

レベル	用途	対象
上級	学習 教養 実務	法曹 法務 一般

2022年8月発売 / 320頁 / 定価2970円(税込)
四六判 / 並製

詳細を
見る



BOOK INFORMATION

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

